

第二六一回松山市観光俳句ポスト

第二六一回開函

「紅日」主宰 三好 曲 選

特選三句

石手寺の朝の参道水を打つ

大阪府高槻市 金森 教子

蝉しぐれ子規の句碑ある城下町

愛知県稲沢市 鳥毛 美保子

炎天下峠を越える笠と杖

岐阜県岐阜市 船戸 成郎

入選二十句

万緑の風切り走る電車かな

熊本県熊本市 粟津 玲子

石段を登り汗ふく天守閣

神奈川県横浜市 和泉 良雄

梅雨晴れや寄り添ふ夫と道後の湯

三重県津市 市川 一登実

旅に寄る梅雨の子規堂静かなり

愛媛県西条市 稲井 達夫

大手門出でて色濃き百日紅

岐阜県可児市 太田 勝康

札所寺出でて蜜柑の花香る

大阪府茨城市 蒲田 雅子

木下闇水子供養の灯が点る

大阪府豊中市 久保田 徹

遠雷や坊ちゃん列車動かざる

岡山県赤磐市 杉本 征之進

内子座を経て道後まで夏帽子

埼玉県南埼玉郡 瀬下 史世

蝉時雨坊ちゃん列車満載に

岡山県岡山市 高木 幸子

風呂あがり汗を拭きふき生ビール

千葉県君津市 田中 康義

遍路道沈む日はまだ海の上

大分県大分市 天領 杉太郎

坊ちゃん列車どれも満員梅雨晴間

兵庫県明石市 長田 昌子

にぎやかに子供の足湯風薫る

滋賀県甲賀市 服部 とき

石ひとつ置きし筆塚梅熟るる

愛知県岡崎市 矢田 一子

(市内)

子規堂の身代わり地蔵木下闇

愛媛県松山市 川田 恵美

城山の緑の風のこゝちよし

愛媛県松山市 重松 康弘

餅館系のおいがすずしけり

愛媛県松山市 山下 富喜子

(十五歳以下)

コスモスを見ながら歩くへんろ道

愛媛県松山市 高橋 咲瑛

ていれぎの水に足つけせみの声

愛媛県松山市 本宮 沙耶

投句総数

九六一

市外

七六四

市内

一九七

投句者総数

五四一

市外

四四四

市内

九七

開函日

平成二十五年七月三十一日